

中期ビジョンテーマ  
地域商工業者とともに3つの力を高めます！

## I. “企業活力”強化



「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」では全国各地からのあたたかい支援の手が次々と被災地に届けられた。

## II. “地域力”強化



震災には負けないという気概を示した「東北六魂祭」には2日間で36万人の観客が来場(7月16日、17日)。

## III. “組織・運営力”強化



村井知事、奥山市長をゲストに招き開催した「震災復興会員総決起大会」では、全所一丸となって復興へ取り組みを進める決議を採択(23年10月)。

### <23年度事業の主な成果(復旧・復興事業を中心に)>

(24年3月27日現在)

- ① 復興対策本部(鎌田本部長)設置(3月11日)
- ② 緊急相談窓口(当所・アエル・卸商センター)(3月14日～)  
[相談実績 窓口相談:3,878件、電話相談:857件]
- ③ 会員事業所への実訪等による状況確認(3月・11月2回実施)  
[対象:7,021事業所 安否・復旧状況確認、現場ニーズの把握]  
全国商工会議所からの派遣経営指導員の受入  
[4月11日～6月24日 第1陣～第4陣 のべ人数36人]
- ④ 震災対応セミナー・講演会  
[経営・金融・雇用関連セミナー6回開催 受講者数:633人]
- ⑤ マル経融資制度震災対応特枠の新設と利子補給制度の開始  
マル経推薦実績:243件(前年比123.4%)  
金額13億400万円(前年比176.1%)]
- ⑥ 遊休機械・OA機器・店舗設備等の無償マッチング支援プロジェクト  
[被災3県沿岸地域90事業所と400点の機械マッチング成立]
- ⑦ 会員ビジネス交流会・商談会  
[新入会員、支店長、ビジネスモール・入札王等8回開催、1,094人参加]  
[大阪・東京・名古屋での商談会:26社参加]
- ⑧ 第3回3都市(仙台・米沢・会津若松)ものづくり交流会  
[23年11月開催62人参加 会津若松市で開催]
- ⑨ 政策提言・要望活動  
[「震災からの復旧・復興に向けた重点要望」など  
要望先:財務大臣ほか宮城県選出国會議員]
- ⑩ 震災直後の中心部商店街買物情報の発信(3月23日～)
- ⑪ 東北の被災地訪問  
[訪問者:岡村日商会頭・鎌田六県会長ほか  
訪問地:八戸・宮古・釜石・大船渡・気仙沼・石巻・塩釜・福島・原町・相馬・いわき・郡山(3月～7月)]
- ⑫ 仙台七夕まつりの早期開催決定及び過度な自粛見直しを全国に呼びかけ(4月日商記者会見で鎌田会頭)
- ⑬ 「東北六魂祭」「東北まつりネットワーク」  
[東北六魂祭:7月16日、17日仙台市で開催。観客動員数36万人]  
[東北まつりネット:東北45会議所、四季ごとの113祭り参加]
- ⑭ 風評被害払拭のための情報発信  
[博多どんたく(5月)、神戸まつり(5月)への参加]  
[国内外からの視察受入・メディア取材対応を通じた情報発信]  
[地場産品に感謝を添えて贈る「ありがとう仙台・宮城」キャンペーン実施]
- ⑮ 仙台空港・仙台国際貿易港の再開セレモニー開催
- ⑯ 米軍の仙台空港復旧支援に対する感謝状贈呈  
[オバマ大統領宛の感謝状をルース大使に贈呈(6月)]
- ⑰ 夏季節電キャンペーン
- ⑱ 震災復興会員総決起大会  
[村井知事、奥山市長を招き10月開催。会員企業650人参加]
- ⑲ 仙台復興推進に関する提言(第1次・第2次)取りまとめ  
[仙台商工会議所復興推進委員会が早期復旧・復興に必要な地域や商工会議所としての取り組みをとりまとめ]
- ⑳ 組織・基盤強化の取り組み  
[会員数 23年3月7,151事業所→24年3月7,242事業所]

### <平成24年度重点事業>

## スピードある復興へ！ 会員企業とともに

震災から1年が経過し、沿岸地域を中心とした被災地のスピードある復旧・復興を目指して、復興庁宮城復興局・宮城県・仙台市など関係諸機関との連携強化を図りながら、当所復興推進委員会における提言に沿って、復興予算を生きたお金として域内で循環させ、復興の基盤となる地域経済の再生を進めます。  
また、仙台が宮城、東北の復興を支えるという共通認識の下、地域商工業者がダイナミックな経済活動を展開できるよう、地域総合経済団体として積極的な事業活動を展開します。

### 1 地域中小企業への経営支援強化及び雇用支援

…二重ローン問題をはじめとした震災関連の経営相談に対応するため、個別案件に対応した専門経営相談機能の強化を図るとともに、「マル経」の震災対応特枠及び仙台市の利子補給制度や、地元金融機関との連携などによる復旧・復興に向けた資金繰り支援を通じて、地元中小企業の体質強化を図ります。  
さらに、復興に関する助成金や補助金など、新たな各種施策の説明会開催や情報提供を通じて利活用促進を図るとともに、企業の創業・経営革新、企業誘致支援等によって新事業の展開や雇用創出を支援します。

### 2 広域的な被災地支援活動の積極展開

…全国514商工会議所のネットワークを活用した「遊休機械無償マッチング支援事業」や「大学等保有PC再生寄贈プロジェクト」の展開等を通じて、被災3県における復旧・復興を後押しするとともに、一歩進んだ付加価値の高いものづくりを実現するための取り組みに関係機関等との協力で進めます。

### 3 地元中小企業の異業種交流・市場開拓・販路拡大支援

…全会員を対象とした会員の集いや、様々なテーマ設定による会員交流会の開催により相互ビジネス交流を図るとともに、首都圏等で行われる見本市や展示会への参加支援や関係団体との連携による開催、中小企業の海外における販路拡大支援などを通じて、経営基盤強化を図ります。

### 4 現場の声に即応した政策提言・要望活動の展開

…復旧・復興の局面に応じて変化する現場の声を的確に汲み取り、各種支援制度の適用期限延長など諸施策の実現や、ガレキ処理受け入れ自治体拡充などの早急な対応を行政に強く働きかけます。  
特に宮城復興局への職員派遣により、迅速な情報収集と的確な意見の反映に努めます。また、仙台空港、仙台国際貿易港、地下鉄東西線および仙台都市圏道路網、鉄道・通信網など、復興推進及び将来の災害への備えの要となる産業基盤の整備と利用促進に努めます。

### 5 民間活力導入による復興の推進

…一次産業及び次世代エネルギーなどの特区制度を活用した企業誘致をバネとして、地域再生と厚みのある経済社会の実現を促進するため、進出企業のサポートや地元企業のビジネスチャンスを拡大するためのマッチングを支援します。さらには、仙台国際貿易港や仙台空港などについても民間活力を生かして、その役割と利便性を向上させ、地域の復興を推進します。

### 6 地域固有の魅力を生かしたまちづくりの推進

…地下鉄東西線沿線のまちづくりや、仙台城など青葉山エリアの一体的な整備への意見反映を図るとともに、震災の記憶を風化させないメモリアルホールの整備、震災を契機に地域コミュニティの中核としての評価が高まった商店街の活性化支援、地域資源を生かしたまちづくりの一環として実施する「まちゼミ」などの展開等を通じ、地域の賑わい創出、並びに仙台の都市機能強化に努めます。

### 7 交流人口拡大を目指した全国への情報発信

…平成25年仙台・宮城デスティネーションキャンペーン(DC)に向けたプレキャンペーンの実施(4～6月)、東北の四季ごとの祭りで構成する「東北まつりネットワーク」の活動、「東北六魂祭」(5月盛岡)、「東北観光博」などの取り組みを有機的に結び付けるとともに、国際会議・学会等のコンベンション誘致や海外からのインバウンドを含めた交流人口の拡大で地域の活力を高めます。また、あらゆる機会を捉え、風評被害払拭に向けて安全安心を一丸となって国内外へ情報発信を行います。

### 8 会員間の団結を深めるための取り組み

…全国514商工会議所118万会員のネットワークはもちろん、仙台商工会議所7,300会員のスケールメリットを生かした要望活動などの事業展開を図るべく、会員組織強化に努めるとともに、全職員による会員訪問や会員アンケートによるニーズ把握と事業反映に努めます。